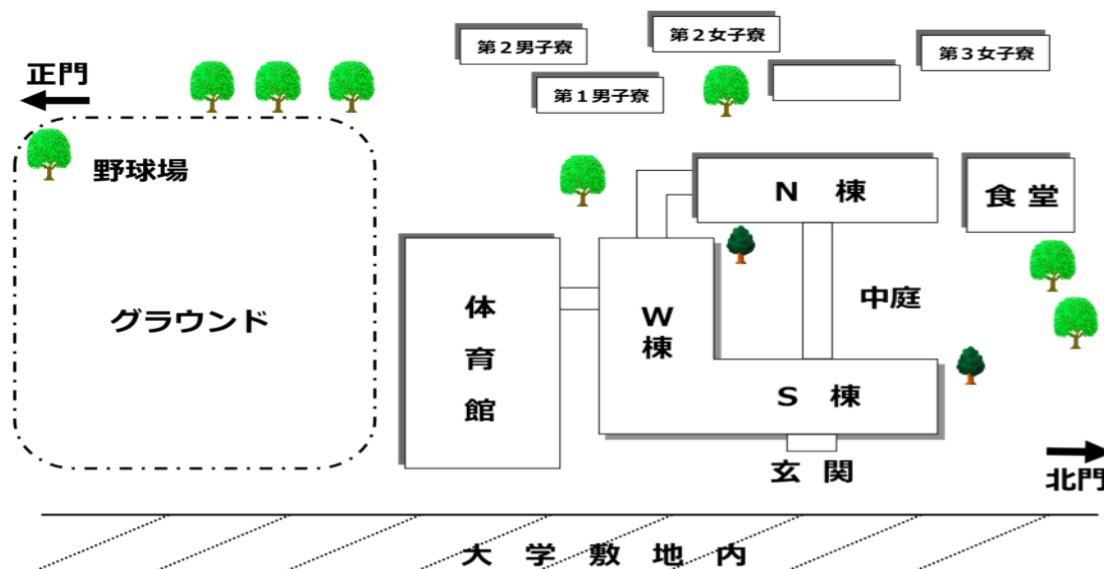


# 国際基督教大学高等学校学寮

I C U高校には、海外からの帰国生が3分の2、国内の中学校からの一般生が3分の1在籍しております。学寮には、保護者が海外や他府県に在住している者、または通学時間が1時間半以上の者が入寮を許可されております。学寮は、下図にあるように高校校舎の後方に位置しており、男子寮が2棟、女子寮が2棟あります。収容定員は、男子寮44名、女子寮66名で、合計110名となっております。  
\*寮は集団生活であり、健康状態によっては入寮できないこともありますのでご了承ください。



## 寮の日課

I C U高校の学寮は、高校教育の一環として運営されております。楽しくかつ規律正しい生活を送るために、民営の学生寮とは異なる点が多々あります。各寮には、専任教員（寮アドバイザー）1名とその家族、そして寮母1名が常住しており、寮生の生活を見守っております。生徒が規則正しい生活ができるように下記のような日課が定められています。

午前 7:00	起床 洗面	午後 3:20	帰寮（クラブ活動）
7:30	清掃 朝食	5:30~9:00	入浴
8:25	登校	5:30~6:30	夕食
		7:30	門限
		8:00	静粛時間の開始
		11:00	テレビ終了
		12:00	消灯

塾や稽古ごとなどで校外に出る場合には、校外学習許可願いを寮アドバイザーに提出しなければなりません。1, 2年生は週2回、3年生は週3回まで外出が許可されています。

学校を遅刻あるいは欠席する場合は、寮母に報告します。なお、通常の遅刻があまりに多い場合は、両親に通知します。さらに遅刻が続く場合には停寮、退寮などの処分が科せられます。喫煙や飲酒をした場合は即退寮となります。また、毎週1回寮会が開かれ、寮生が寮アドバイザーと寮母を交えての話し合いを持ちます。毎月1回寮の大掃除が行われ自主的に住み良い環境を保っております。本校教員による寮巡回も行われ、清潔な寮環境が保たれているかチェックが入ります。寮生が規則正しく健全な生活を送れるように、毎週4寮のアドバイザーと寮母、教頭、養護教諭による寮生に関する連絡会議を持っております。

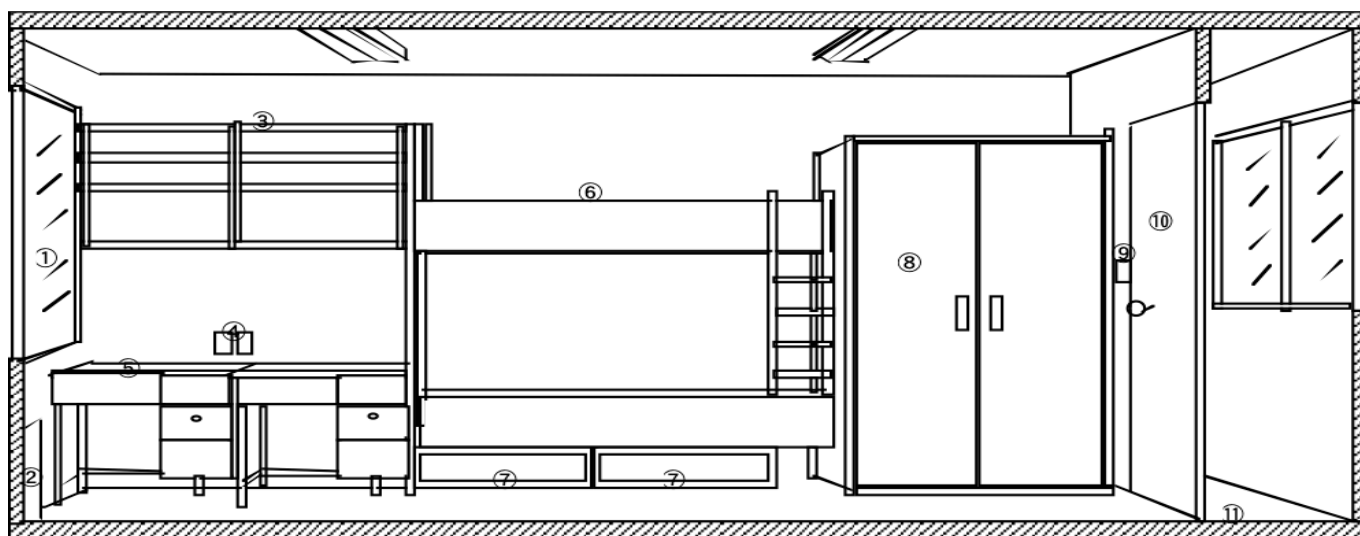
## 規則正しい生活習慣と週末閉寮の意味

寮生たちは、楽しく規則正しい集団生活を送っています。しかしながら、共同生活はそれなりのストレスを伴うものです。勉強やクラブ活動のほかに、洗濯や掃除など身の回りのことも自分でやらなければなりません。

ICU 高校の寮では、寮生が心身ともに健康で過ごせるように、週末および連休につながる祝日は閉寮とし、必ず自宅もしくは身元引受人宅に帰り健康状態などのチェックをしていただくことになっております。以前は週末も寮で過ごすことができるようになっていましたが、寮生活が単調になり、ストレスや疲れ、病気、授業がない週末の開放的な気分が原因でトラブルが発生いたしました。週末に家庭に帰るようになってからは、寮生自身の生活にも適度な緊張感とリズムが生まれ、和やかな雰囲気の中で規則正しい寮生活が保たれるようになりました。多感な年齢にある高校生が、週に一度家に帰り気分転換することが貴重であり、月曜日からまた一週間元気な寮生活を送れるのです。また、寮では、寮生がインフルエンザやおたふく風邪などの感染症にかかったり、重大なルール違反（飲酒、喫煙など）を行って寮を離れざるをえないような事態が生じることもあります。そのような場合、寮生が安心して身を寄せる場所があるということが、学寮にとって大事なことなのであります。

## 寮室

寮室の一例です。（寮により、多少レイアウトや備品が異なります。）



上図は、寮室を二つ割りにして、西側壁面を見たものです。東側は対照形になっています。

- ①アルミサッシ窓 ②スチーム ③作りつけ本棚 ④コンセント ⑤スチール机 ⑥二段ベッド  
⑦ひきだし ⑧洋服ダンス ⑨天井灯スイッチ ⑩ドア ⑪廊下

### Fさんの寮生活

女子寮で生活する2年生のFさんは、寮母さんを「頼りになる優しいお母さん」と言っています。彼女は現在1年生2人と3年生5人の3人部屋です。同じ寮にいる3年生5人は受験を控えているため、2階にある部屋で毎日遅くまで勉強しています。

2年生が中心になっていろいろな役割を分担しています。2人の寮長が持ち前の明るさで寮生をまとめ、毎週の寮会も笑い声が絶えないようです。食堂委員であるFさんは「食堂のメニューの向上」を目指しています。保健委員は薬箱の管理が仕事です。

初めて寮生活をおくる1年生は現在10数名。寮生活の経験者である2年生が、掃除の仕方、ゴミの分別方法、洗濯時間の予約などについて優しく指導しています。帰国生が多いためか、寮生はファーストネームで呼び合い、先輩後輩の関係はないようです。また、海外生活経験のある寮生から外国の話聞くことが楽しく、学ぶことが多いとFさんは言っています。

「常に他の人のことを考えて、行動する」、「自分勝手な振る舞いは、いつかどこかで必ず誰かしらに迷惑がかかる」。これが共同生活からFさんが得た教訓です。「玄関の自分の靴をすぐしまうことは自宅でしなかったが、多くの住人がいる寮では必ずやらなければならない」、「自分のことは自分でやる」ということが寮生活の鉄則だと彼女は言っています。

このように、学寮では生徒が自主性と主体性を持つようになり、「他人のことを考えながら生きる」というやさしそうで大変難しいことを体得し、大きく成長していきます。